

木の伝え手

～横浜の森の楽しみ方を伝える人に密着～

今宿市民の森 澤野さん

メンバーが自然を好きになってくれるのがうれしい

旭区の今宿市民の森愛護会で森づくりボランティア活動がされている澤野さんにお話をお聞きしました！

★講座について

Q1. なぜこの講座を受けようと思われたのですか

A1. 自宅近くにある「市民の森」で愛護会活動をしているので、お子さん達を含めた地域の皆さんに、もっと森に親しんでもらうための考え方やスキルを学びたいと思ったのがきっかけです。

Q2. 印象に残っている内容やその後の活動に役に立ったと感じる内容はありましたか

A2. 最後に自分たちでテーマを決めてプログラムを作り、横浜市のイベントの中で実践したことです。プログラムに参加してくれたお子さん達は予測不能な動きをすることもあり、プログラムの企画だけでなく、安全管理等、実際に運営していくための想定や体制の重要性を学べたことがとても良かったと思います。

～profile～

今宿市民の森（旭区）で愛護会事務局長を務める。
本市インタープリター養成講座第2期の受講生。



愛護会活動の様子
→ボランティアの皆さんで樹名板を作成しています

←愛護会員の皆さんに今日の活動の内容を説明する澤野さん



★活動について

Q3. 普段どのような活動をされていますか

A3. 市民の森愛護会活動として、植物の保安全管理や地域の方に森に親しんでいただくための樹名板作り等を行っています。愛護会全体としては月に1回活動しており、メンバーは、森の保存を市に要望した周辺の6つの自治会の代表（輪番制で通常毎年交代）と近隣にお住まいのボランティア（継続参加）で構成されています。

Q4. その活動に至ったきっかけは何ですか？

A4. もともと自然が大好きだったところに、自宅の前に「市民の森」ができて愛護会のメンバー募集の情報を自治会経由で知り、喜んで参加することにしました。ここは「市民の森」になる前はごみの不法投棄などもあり、近くに住みながら足を踏み入れたことはありませんでした。

Q5.何かご自身で工夫されていることや気を付けていることがあれば教えてください

A5.自治会の輪番制で愛護会に加わってくださる方の中には、自然が苦手な方もいらっしゃるため、そういう場合も興味を持って頂けるような工夫が必要になります。また、気を付けていることは、活動中の安全確保です。高齢のメンバーもおられるので、特に真夏は熱中症回避のため、愛護会全体としては活動を控えています。ただし、今年は夏ならではの活動として、暑さの和らぐ時間帯に希望者だけで森の昆虫調査を行う予定です。

樹名板づくり



愛護会員の皆さんそれぞれが、事前に調べてきた樹木の特徴を発表
調べた内容をもとに、樹名板をつくっていきます

樹木の豆知識を入れた樹名板
興味を持ってもらえるようにと、それぞれに工夫が凝らされています

★活動のやりがい

Q6.講座で学んだことをどのように活かされていますか

A6.樹名板をインタープリテーションの中の「展示」の一つとすると、地域の皆さんに森や自然に関心を持ってもらえるように、植物の名前だけでなく豆知識（特徴や名前の由来・用途・花言葉等）やイラストを愛護会メンバーと一緒に工夫して付け加えています。自分で調べてみるとその植物への親しみがぐっと湧いてくるので、ご覧になった皆さんにも同様に感じていただければと思います。

Q7.その活動をされていておもしろいと感じられることはどんなところにありますか

A7.自治会の輪番制で愛護会に加わり、自治会としての任期終了後もボランティアとして継続参加してくださる方がおられます。森での活動を一緒に楽しんでもらっていると嬉しいですね。

保護エリアの設置



貴重な植物を守るため、保護エリアを設置しています

園路沿いの除草



来園者が気持ちよく市民の森を利用できるよう、園路沿いの繁茂した草を取り除いています

★今後のビジョン

Q8.今後やりたいと考えている活動内容がありますか

A8.お子さんを含めた地域の方向けの自然観察会等ができたらと思っています。前述のインタープリテーションのプログラムの実践で、安全対策を含めた準備の重要性を学び、愛護会としてそれに割ける時間・労力・要員が整うまでは、と思っていますが、このところ、継続参加のボランティアの方も増えつつあるので、開催できる環境になりつつあるかもしれません。

Q9.どのように森と関わっていききたいかなど今後の活動のビジョンがありましたら教えてください

A9.自分自身を振り返ると、子どもの頃に自然に親しんだ経験が、この年齢まで自然・生きもの好きでいることにつながっているのので、地域のお子さん達が自然に親しめる活動を森でできればと思っています。

Q10.最後に、自然の中での活動に興味のある方に向けて、メッセージをお願いします！

A10.横浜市では自然に関する講座やイベントを色々開催しているので、まずはそれに気軽に参加してみることをお勧めします。また、ご自宅の周りを歩いてみるだけでも、小さな自然を楽しめると思います。



←愛護会活動により貴重な植物があることを来た人に伝え、守ることに繋がっています

市民の森とは？

横浜市独自の制度で、緑を守り育てるとともに、土地所有者の方々のご協力により、市民の憩いの場として公開しています。



今宿市民の森愛護会 活動について

活動日：毎月第三日曜日

会員数：24名(令和4年4月現在)

主な活動内容：野草の保全や草刈り、樹名板づくりなどの森づくりボランティア活動